

# 小野市民病院からのお知らせ

市民の皆様には、日頃から小野市民病院の運営につきまして、心温まるご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

小野市民病院は、昭和 29 年に開院して以来、約 60 年に渡って皆様に愛され親しまれてまいりましたが、来る平成 25 年 9 月末で閉院し、翌 10 月には三木市民病院と合併した新病院「北播磨総合医療センター」としてオープンいたします。

「北播磨総合医療センター」では、神戸大学医学部附属病院に匹敵する充実した 27 診療科で総合的な医療機能を発揮し、北播磨地域の中核病院として地域医療に大きく貢献したいと考えております。

現在、新病院の開院準備を進めておりますが、実際の開院までには医師の異動に伴う人員の減少や外来担当医の交代等により、やむを得ず一時的に他院へ紹介させていただいたり、救急の受け入れ、入院についても調整をさせていただくことがあります。

患者様には大変ご迷惑をおかけしますが、今後も安全で安心できる良質な医療を提供するため、職員一同総力を挙げて取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 3 月

小野市立小野市民病院

開設者 小野市長 蓬 萊 務  
病院長 門 脇 誠 三



## Q1 小野市民病院の医師はどうして早く辞めるの？

小野市民病院の医療を守るため、院長を始めとして医師の慰留に努めてまいりました。しかしながら、統合病院は神戸大学医学部と連携し高度医療を提供する病院のため、勤務を希望しても叶わない医師や、統合を機に開業し独立する医師などが自己都合により退職することとなりました。

5月以降は常勤医師が33名から18名（内科4名、整形外科3名、形成外科3名、小児科5名、眼科3名）となる見込みです。

しかし、神戸大学医学部や他病院からの支援を受け、医師の応援体制は整っておりますので、外来診療はこれまで通り行ってまいります。

## Q2 入院はどうなるの？

医師の減少に伴い、3月からは、患者様の安全を確保するため、入院は現在の220床から半分の109床までしか受け入れできなくなります。患者様の症状によっては、医師の判断により、やむを得ず近隣の公立病院や民間病院などへ紹介させていただく場合もございます。

## Q3 夜間や休日の救急は診てもらえるの？

夜間や休日の救急受け入れは困難となりますので、やむを得ず他院（三木・加西・加東・西脇）へ転送をさせていただく場合が増えますが、ご理解をお願いいたします。

## Q4 人間ドックや健診はどうなるの？

4月1日以降の人間ドックはお受けできなくなります。町ぐるみ検診の再検査、個別健診（特定健診・肺がん検診・乳がん検診）やその他の健診関係もお受けできませんのでご理解をお願いいたします。なお、11月以降は、統合病院で再開させていただきます。

## Q5 CT・MRI・胃カメラ検査等はしてもらえるの？

CT・MRI・胃カメラなどの精密検査は引き続き行ってまいりますので、ご安心ください。（検査には予約が必要です。）

## Q6 統合病院では、引き続き診てもらえるの？

統合病院はこれまでの16科から27科に、病床数も220床（3月109床）から450床へと増加し、最新の医療機器を備える充実した地域の中核病院となります。市民病院から統合病院へは車で5分以内の距離ですので、安心して引き続き受診してください。

